

社会福祉法人夢の森福祉社会 広報誌

【第5号】

ゆめ

●発行/社会福祉法人夢の森福祉社会「ゆめ」編集委員会
 栃木県日光市大沢町274
 TEL.0288-32-2280 FAX.0288-32-2281
 メールアドレス yumenomor11@ap.wakwak.com

●今号の題字/夢の里 岩村 佳代さん
 ●印刷/南三興社

心を配る

今年の天候は落ち着きがないというのか、その中でも、年度始め恒例行事「お花見ドライブ」の桜の満開の時期に、雹が降るのには恐れ入りました。まさに「花に嵐」の言葉通りです。平成二十五年度から平成二十六年度、たくさんの方々の利用があり、活気あふれる時期がありました。知的に、身体的に、精神的に、様々な障害のある皆さんをしっかりと理解し、受容し、支援させていただき、安心して楽しくいろいろな活動に取り組んでいただける場として充分なサービスの提供ができたのか、できているのか、常に評価しつつ歩まねばなりません。

例えば平成十五年に、知的障害者通所授産施設、身体障害者デイサービスセンターとして開設して以来、制度の変更もある中で各種事業は現在多くの分野に涉っています。



情報発信の機関紙としての「ゆめ」は、現状では年一回となっていますが、「夢だより」の発行は各部署ごとの最新の情報が毎月一回定期的に発行することができています。発行することができています。発信する

「木を見て森を見ず」はどういうこと、とか、「私には夢がある」は誰が、いつ、どんな意味で言ったのか、また「私には向いていないと思います」とそんなに速く決められるの、などという類の言葉群です。しっかりとした経営に当たるにおいて、様々な考え方や条件を踏まえていかなければなりません。また、読んで本に、かなり以前に紙面に掲載されたものように、それが引用されていて印象に残り



結びになりますが、夢の森福祉社会は、いつも変わらぬたくさんの方々の皆様に支えられて歩みつつありますが、改めて深く深く感謝申し上げますとともに、これからも更なるご支援、ご協力とご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

すが、それぞれの意図するところに従い順調に稼働中です。（それぞれの内容に付きましては、次頁以降でも紹介をさせていただきます。）

一日の始まりは送迎車両の到着と降り立つ利用者の皆さんの元気な「おはよう」の挨拶からになります。そして通所事業所にとつての送迎は欠かすことのできない大事な業務であり、常に安全・安心をしっかりと念頭に置き、車輛の整備・補充を心掛けて来ましたが、今後も必要に応じた対応を継続していくこととなります。なお、朝夕の送迎は、宇都宮、今市、日光、鬼怒川等の地域を大型のマイクロバスから車椅子対応の普通・軽ワゴン車等で運行しており、各コースの工程表を冊子として作成し、サービスの充実を努めることにしました。

その後の「夢ホーム」は（グループホーム）と（短期入所）になりますが、運営には改善点を検討しその都度調整を図りつつ対応しているところであります。特に本体との職員の交流を積極的に行い、宿直、日中活動等に柔軟に取り組んで来ています。なお、利用の要望は増えつつあり、更なる設置が早急に必要となっており、「第2夢ホーム」は新年度の事業となります。

施設としての様々な業務の遂行に当たっては、質的にも量的にも、さらに様々な視点や分野から常に検討を心掛け、改善や新たな設定などに取り組むことが欠かせません。（いわゆる「PDCA」になるでしょう）そこで、毎月の会議等での意見交換や協議の資料として提示して来ましたが、その内容となるものは、以下のようになります。

1 環境整備（人的環境、物的環境）
 2 各部署内の担当
 3 送迎関係
 4 研修等
 5 利用者家族との連携
 6 気になる言葉
 最後の（6）については、（ことわざ）だったたり、著名人の言葉や私の個人的な体験の中からの言葉だったりですが、ちょっと立ち止まって考えてみようとする意図があります。

内容には「これでよい」ということにはありませんが、様々な角度からの声を聴きながら充実させていきたいと思いたいと思っています。さて、

「単に給料を払ったり、厚生施設を立派にするだけでは片づかぬ問題がある。人間は、喜怒哀楽を持つ多感な動物だ。その集団を結合していくには、やはり人間的な愛情が、経営の中にあふれてこなければいけません。」（中外日報・後藤清一）

また、経営という仕事に関わるには《心配》が大事な要素であるとしても、言葉にして口で言うほどに簡単なことではありませんが、《細かい配慮、細かい気の配り、深く心を配ること》が極めて大切なことなのでしよう。

改めて思いを致すとき様々な場面において、十分な対応が行なわれて来ているのか、が問われることになるのではないかと考えられます。

昨年度は施設長の途中降板があり、八月以降は兼務の状況となり、皆様のご協力、ご支援を得つつ不安や気掛かりの払拭に努めて来ましたが、新年度が四月にスタート、現在は新たな職員の補充もでき、利用者の皆さんも落ち着いて、明るく元気に日々の諸活動や作業等に取り組んでおります。



社会福祉法人夢の森福祉社会
 理事長 千代田 進



夢の森

(就労移行・就労継続支援B型・生活介護)

平成26年度を振り返って

就労支援部 主任 青鹿 浩正

平成26年度の夢の森（就労支援、生産活動を伴う生活介護）は、職員の入職者と退職者が多く、ご利用者様やご家族の皆様にご不安な気持ちを与えてしまったのではないかと思います。その為、作業支援や生活支援も試行錯誤の時期が続き、我々職員も中・長期的に見通しが立てられず、一日一日を安全・安心にすごしていただくことしかできないこともありました。そんな中でもご利用者様の皆様は職員を信頼し、毎日元気な姿を見せてくれました。そのおかげで日々を大過なく過ごすことができたのだと思います。

日々の作業支援として自主生産品の木工製品や陶器、農産物などを生産、販売したり、工場や霊園に清掃に出向き、時給をいただいたりして、工賃の支給に繋がりました。しかし、ご利用者様が満足できるような工賃をお渡しすることができなかったことを反省点として受けとめております。

今年度は新たな職員を加え、8名体制でご利用者様をお迎えすることができるようになりました。そして、新入職員が一日でも早くご利用者様それぞれの個性を理解し、受けとめ、毎日を安全・安心に利用していただくことを全職員の共通目標として、作業支援、生活支援、就労支援に取り組んでまいります。

委託作業



ケーキを入れる箱折り

木工作业



丁寧にやすりがけ

農園芸



収穫に向けて種植え

缶リサイクル



種類ごとに選別

～夢の森製品紹介～

くるみボタン製品&木工製品



くるみボタン



髪どめ



花台



パズル

夢の森ではくるみボタン製品や木工製品等手作りで製品を作成しています。小物として使用したり、プレゼントとしても喜ばれると思います。施設内でも販売しておりますが、販売会への参加等も行う予定です。木工製品は福祉プラザや日光ブランド情報発信センター等でも販売しております。お見かけした際はぜひ、お手に取って下さい。

夢の里 (生活介護)

夢の里の一年

生活介護部 主任 佐藤 裕

私は昨年4月、夢の里へ異動しました。それまで夢の里の利用者様とは、夢ホームや夢の里の土曜営業で接していましたが、異動してすぐ、私の夢の里ご利用者様への理解はほんの一部であることを痛感しました。

その一つ目は、ご利用者様の状態像の把握です。特に健康面は重要です。体温、血圧測定だけでなく、顔色、表情、言動、前日までとの違い、夢の里に来所するまでのご家庭での様子等、健康状態を探る観点が多々あることを実感しました。

その二つ目は、言語障がいのあるご利用者様の思いをいかに理解するかという課題です。仮に自分の思いがうまく伝えられていないとしたら、ご本人は不安で周囲の反応に敏感になり、屈辱感や疎外感に悩まされるのではないかと思います。ご利用者様の思いを理解することの難しさを日々感じています。

昨年はご利用者様に対するリスクと安全配慮について改めて深く考えさせられることがありました。ご利用者様の安全と満足度を高め、サービスの質の向上に努め、今後に生かしていきたいです。



活動の様子「ジグソーパズル」

創作活動「桜の木」



おやつレクリエーション
「ホットケーキ作り」

年間行事

- 4月 お花見
- 6月 開設記念行事
- 7月 奉仕作業・懇親会（家族の会）
大沢地区民生児童委員協議
会健全育成事業
- 9月 奉仕作業・懇親会（家族の会）
ふれあいの集い（日光市）
障害者スポーツ大会（栃木県）
- 11月 カルフルとちぎ（栃木県）
夢フェスタ2015
（後援会・家族の会）
- 12月 年末お楽しみ会
（日光市肢体不自由児者
父母の会）
- 2月 成人・還暦を祝う会



開設記念行事



ふれあいの集い（大洗水族館）



成人、還暦を祝う会

夢っ子

子どもたちの成長をみつめて

夢っ子 主任 大橋 一重

平成26年度は子どもたちの成長を強く実感した一年でした。今年3月に2人の生徒さんが今市特別支援学校を卒業され、夢っ子からも退所されました。小学部1年生のころからともに歩んできた12年間を振り返ると、一緒に遊び、泣いたり悩んだり、また笑い合っただけの喜びを共有したことが脳裏に浮かび胸が熱くなりました。身も心も大きく成長されたお姿にたくましさを感じました。現在夢っ子に通って来られる子どもたちも同じように見えない一歩であっても確実に日々成長されています。私たち支援員はひとりひとり性格の違う子どもたちの意欲を引き出すために褒めたり励ましたり工夫しています。

またご家族の皆様にご協力いただき、どんな些細なことでも話し合い、一緒に考えています。その結果、子どもたちが今までできなかったことが出来るようになったとき、共に喜びを分かち合うことができます。

平成27年度は、また新しいお友達が夢っ子に来られます。ひとりでトイレにいけるようになりたい、お友達と上手にコミュニケーションをとれるようになりたいなど、それぞれになりたい自分があります。夢っ子の子どもたちがなりたい自分に少しでも近づけるよう学校、ご家庭、地域の方々と連携しながら、笑顔絶えず楽しくのびのび過ごしていきたいと思ひます。



大笹牧場 夏休み外出



すいか割り



チューチュートレイン



たこ焼きパーティー

夢ホーム



「おがえり」「ただいま」



チラシを使って創作中



みんなでお出掛け

1年、2年、そして

夢ホーム 主任 島崎 篤

振り返れば、平成25年度の1月に夢ホームを引き継いでから、右往左往しつつ夢ホーム職員及び本体職員の協力を得て、なんとか平成26年度を迎えることができました。その平成26年度は、夢ホームの運営をなんとか本体の他の事業に近づけられたように思われます。当初はまだ平成25年度の引き継ぎで、本体職員の手助けに負うことが多くありましたが、徐々に職員体制も整いだし、ご利用者様の生活面の安定（個々にはもちろん課題がありますが）も含めて、後半は全体として落ち着いてきたと言えるのではないのでしょうか。

しかし、ご利用者様の方々への支援に関しては、誠に悔いの残る年でもありました。ご利用者様によっては健康面の支援には、グループホームとしての夢ホームの限界を、入院対応に関しては、力量の未熟さを痛感させられました。これらにつきましては夢の森全体の課題として取り組んでいるところです。

平成27年度の展望としては、短期入所のご利用をより積極的に受け入れつつ、地域との交流を進めながら、ホームの信頼をより得られるよう職員の支援及び運営の力量を磨いて、開設予定の第2夢ホームへとつなげていければと考えています。

指定特定相談支援センター ドリーム

相談支援専門員としての一年

相談支援専門員 手塚 久規

昨年6月より指定特定相談支援センタードリームの相談支援専門員として、業務に従事して参りました。初めはひたすら、ご利用者様やご家族様の生活の上でのご希望を傾聴し、サービス等利用計画を作成することに正直追われていた時期もありました。しかし2~3か月経ちますと、ご利用者様の話で何を伝えようとしているのか？何が必要なのか？ご家族はどのようにご利用者様に生活して欲しいのか？を考えながら話を傾聴する様に、私自身、気を付ける様になりました。ご希望される事業所への同行、事業所・日光市をはじめとした行政の方々との連携、この一年間、様々な所へ行く事や話をする事により、夢の森のご利用者様や地域に住む障がい者の地域生活を支えていくには、多くの人たちの支えが必要であるということに再認識致しました。この相談支援という仕事は、施設の中から外へ出て、幅広い視野をもって、障がい者の地域生活を支えていく事だと思っております。

平成26年度は右往左往していましたが、夢の森のご利用者様、ご家族の皆様、夢の森職員、日光市や関係機関の皆様を支えられた一年となりました。本当にありがとうございました。

平成27年度は、障がい者の方の気持ちに寄り添いながら、その人らしい人生を送ることができるよう、相談支援専門員として、頑張っていきたいと思っております。そして、障がい者の方々地域の中で暮らしていくにはどうしたら良いのかを追求し、日々の学習を怠らない様にしていきたいと思っております。

健康管理

笑顔と共に

健康管理課 主任 柳田 喜恵子

平成26年度より再考・再編により全体的な見直しをした組織として出発し、「保健・医療」「栄養・調理」の部署のスタートとなりました。

さて、保健・医療部では、日中の動きとしました、朝来所時の検温を実施し、体調把握を行っております。ご利用者様は、それぞれの一日の作業や活動が笑顔と一緒に始まります。また、丁寧な聞き取りから敏速な対応が出来るよう、情報の共有を心掛けた支援を考えております。また、栄養・調理部との連携では、部会議をはじめ個別での身体状況及び嗜好を考慮し、年齢や障がいの特性によって希望に応じた栄養量や内容を工夫した食事の提供を目指しております。

各部署との情報共有をしっかりと根付かせ、一人ひとりの健康管理に目を配り、心も体も毎日が笑顔で作業や活動が出来るよう、お手伝いさせて頂きたいと思っております。

【栄養・調理】

平成27年度の主な予定

- 6月 嗜好調査アンケート
- 毎月 季節の献立・行事食の実施



ある日の献立。人気の洋食です。

【保健医療】

平成27年度の主な予定

- 7月 嘱託医内科健診
- 11月 インフルエンザ予防接種
- 12月 健康診断
- 3月 嘱託医観察指導



みんなで「いただきます！」



個人に合わせた食器を使います。

毎日の検温や丁寧な聞き取りをしながらご利用者様の健康チェックをさせていただいております。ご利用者様の元氣な笑顔と一緒に支援できることを大変うれしく思っております。

現在、栄養士1名、調理師2名体制での調理を行っております。

安心、安全で美味しく、皆様が笑顔になれる給食を目指して厨房職員一同がんばります！

車輛・安全 日々の運転業務について

運転手 川村 弘

私は陸上自衛隊（静岡の部隊）で大型免許を取得以来五十年になります。この間幸いにも、交通違反、交通事故皆無で、優良運転手として二十年以上の時、今市警察署長より又四十年以上で栃木県警察本部長より表彰を受けました。これに恥じない様、夢の森のマイクロバスの運転手として今市方面のご利用者様の安全な移送を任務として邁進しています。

私の一日の初めは運転車両の安全チェックです。聞くと面倒に思うかも知れませんが、どれも簡単な事ばかりです。安全チェックは事故を未然に防いで安全に移送する基本です。目視点検でタイヤにキズがあるか、異物が刺さっているなどの損傷又は空気圧の不足は重大な事故につながるので注意をしています。又ライト類等、方向指示器、ストップランプは毎週月曜日及びその都度点検し安全確保に専念しています。

今後とも、車両・安全係としての業務全般に携わり更なる努力を尽くしたいと思います。

◆運転手紹介◆



石川 天志 (赤バス)



川村 弘 (青バス)



伴 英次 (競輪号)

お知らせ

①日本財団福祉車両助成事業完成のお知らせ

- ・公益財団法人日本財団の福祉車両の助成事業を受けて、車いすが2台搭載できるリフト式の車両を整備いたしました。施設での送迎や外出等に使用させていただいております。さらに今まで以上により多くのご利用者様に当施設を使用していただくことが可能になりました。



②社会福祉法人夢の森福祉会の“ホームページ”が新しく変わります

皆様に、当法人に関する新しい情報を配信していきたいと思っております。現在、新しいホームページ作成中ですので、もうしばらくお待ちください。

・ホームページの内容

- (1)組織の概要 (2)施設紹介
- (3)夢の森ブログ (4)事業・決算報告
- (5)案内図 (6)メール
- (7)後援会・家族の会
- (8)個人情報保護方針 等

平成26年度 事業実績 決算報告

「人と人と 心豊かに 共に生きてあることを 共に生きて輝くことを」を基本理念とし、利用者の尊厳を保持し利用者に対するサービスの向上、家族との信頼関係の更なる確立に答えられるよう努めました。また、利用者の個々の能力を最大限に発揮できるよう、その特性に応じた適切な支援に努めるとともに、社会適応能力を高めるなど、充実した援助・支援を目指して日々の実践に取り組み、家族や域社会から信頼される施設経営に向け、県及び関係市町の指導援助を受けながら、適正な事業執行に努めました。

●理事会開催状況

第1回	平成26年5月22日(木)
第2回	平成26年7月26日(土)
第3回	平成26年8月5日(火)
第4回	平成26年8月9日(土)
第5回	平成27年1月30日(金)
第6回	平成27年3月27日(金)

●評議員会開催状況

第1回	平成26年5月22日(木)
第2回	平成26年7月26日(土)
第3回	平成27年1月30日(金)
第4回	平成27年3月27日(金)

●法人役員(平成27年6月1日現在)

【理事】6名

千代田 進
中森 利和
峯山 敏正
柳田 忠作
鷹背 平一郎
小林 幸正

【評議員】13名

福田 忠義
東野 孝志
下山田 弘
塩谷 つる代
柳沼 節
柿崎 龍夫
大根田 民雄
高橋 完司
秋澤 芳美
横山 幹夫
杉田 育男
磯村 美和

【監事】2名

金田 勇
小島 幸容

(順不同、敬称略)

●平成26年度 決算財務諸表(法人全体)

◆財産目録

流動資産	173,533,036
基本財産	198,124,405
その他の固定資産	54,438,746
資産の部合計	426,096,187
流動負債	10,718,629
固定負債	23,499,844
負債の部合計	34,218,473
差引純資産	391,877,714

貸借対照表

流動資産	173,533,036
固定資産	252,563,151
資産の部合計	426,096,187
流動負債	10,718,629
固定負債	23,499,844
負債の部合計	34,218,473
基本金	84,058,750
国庫補助金等特別積立金	115,600,902
その他の積立金	335,517
次期繰越活動収支差額	191,882,545
純資産の部合計	391,877,714

◆資金収支計算書

収入	就労支援事業収入	2,920,353
	障害福祉サービス等事業収入	187,172,315
	経常経費寄附金収入	96,000
	受取利息配当金収入	23,678
	その他の収入	3,031,907
	事業活動収入計	193,244,253
支出	人件費支出	106,073,319
	事業費支出	20,936,945
	事務費支出	13,801,181
	就労支援事業支出	3,570,734
	支払利息支出	225,946
	その他の支出	1,403,604
	事業活動支出計	146,011,729
	事業活動資金収支差額	47,232,524
収入	施設整備等補助金収入	2,281,119
	施設整備等寄附金収入	400,000
	固定資産売却収入	1,094
	施設整備等収入計	2,682,213
支出	設備資金借入金元金償還支出	3,055,552
	固定資産取得支出	7,225,509
	固定資産除却・廃棄支出	1,094
	その他の施設整備等による支出	23,830
	施設整備等支出	10,305,985
	施設整備等資金収支差額	△7,623,772
収入	積立資産取崩収入	3,238,926
	その他の活動による収入計	3,238,926
支出	積立資産支出	1,290,936
	その他の活動支出計	1,290,936
	その他の活動資金収支差額	1,947,990
	当期資金収支差額合計	41,556,742
	前期末支払資金残高	121,257,665
	当期末支払資金残高	162,814,407

◆事業活動計算書

収益	就労支援事業収益	2,920,353
	障害福祉サービス等事業収益	187,172,315
	経常経費寄附金収益	96,000
	その他収益	1,338,552
	サービス活動収益計	191,527,220
費用	人件費	104,322,899
	事業費	20,936,945
	事務費	13,801,181
	就労支援事業費用	3,570,734
	減価償却費	9,510,206
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△5,082,758
	サービス活動費用計	147,059,207
	サービス活動増減差額	44,468,013
収益	受取利息配当金収益	23,678
	その他のサービス活動収益	1,693,355
	サービス活動外収益計	1,717,033
費用	支払利息	225,946
	その他のサービス活動外費用	1,403,604
	サービス活動外費用計	1,629,550
	サービス活動外増減差額	87,483
	経常増減差額	44,555,496
収益	施設整備等補助金収益	2,281,119
	施設整備等寄附金収益	400,000
	特別収益計	2,681,119
費用	固定資産売却損・処分損	1,094
	国庫補助金等特別積立金積立額	2,100,000
	特別費用計	2,101,094
	特別増減差額	580,025
	当期活動増減差額	45,135,521
	前期繰越活動増減差額	146,549,454
	当期末繰越活動増減差額	191,684,975
	基本金取崩額	0
	その他の積立金取崩額	556,040
	その他の積立金積立額	358,470
	次期繰越活動増減差額	191,882,545

理事就任にあたって

理事 小林 幸正

今年2月より、理事としてお世話になることになりました。夢の森福祉社会のために微力ながら尽くしていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

理事長には私が新米中学校教師の頃から何でも相談に乗ってくれる頼もしい先輩で、今日まで続いています。生徒一人ひとりを理解し支援することの大切さを学ばせてもらいました。

その後、不登校生徒専門学級の開設とその担当に任命され、全国的にも先駆けとなる取り組みで、大変な苦勞もありましたが、それ以来特別支援教育との関わりが続き、教員生活の半分以上になりました。その間、多くの生徒や保護者の皆様とのふれあいをとおし、いろいろ学ばせていただいたように思います。

理事長が養護学校を定年退職後、大沢町に障がいのある皆さんの施設を開設するために奔走されていると聞いていましたが、縁あってその施設に、平成21年、私は夢の森福祉社会の評議員の一員として足を運ぶこととなり、その都度に本会が果たす役割と責任の重さが実感されました。国・県の施策変更に伴う対応も、なかなか苦心があるようです。

この度の理事就任につきましては、正直なところ大変不安もありますが、先輩理事各位からいろいろ教えていただき一つ一つ勉強しながら、多少なりとも夢の森福祉社会のお役に立てるよう努めてまいります。



夢の森後援会について

後援会副会長 東野 孝志

後援会活動は、夢の森福祉社会の前身であるデイケア「夢の森」の時代から活動を継続してきております。これは、利用者に対するたくさんの方々の理解と協力・夢の森福祉社会をご支援して頂いている事だと心より深く感謝いたします。後援会の事業活動については、会員の募集・利用者家族の会との夢フェスタ共同開催を行なっております。この収益金については、利用者が施設の行事に参加する時の活動補助・施設整備のための法人への寄付など、直接・間接に利用者の支援のために大切に収益金を利用させて頂いております。特に夢フェスタについては、実行側のボランティアの方々、模擬店・各演技の協力団体・職員・家族とたくさんの方々の力の結集で地域の方々・利用者の皆様に楽しんでもらっています。

これからも皆さんとの絆を大切に、夢の森福祉社会をご支援・ご協力して頂けるよう心よりお願い申し上げます。

(評議員、家族の会役員も兼任)



「夢フェスタ2015」ボランティア募集!!

バザー品・抽選会景品募集!!

平成27年11月15日(日)10時より「夢フェスタ2015」を開催する予定となっています。夢フェスタは夢の森福祉社会後援会がご利用者様と地域の方が交流できるお祭りとして毎年11月に開催しております。

今年も開催の予定ですので、夢フェスタにご協力頂けるボランティアを募集しております。ご協力頂ける方は下記のご連絡先までお願いいたします。



(社福)夢の森福祉社会後援会事務局

TEL.0288(32)2280

FAX.0288(32)2281

担当:斎藤・熊倉・山口・手塚まで

編集後記

今年度の会報「ゆめ」は各部署からの昨年度を振り返っての反省や今年度に目指すことをまとめ、掲載しました。ご利用者様が充実した日々を過ごせるよう、職員一丸となって支援に取り組んで参りたいと思います。

これから本格的な夏を迎え暑さが厳しくなる折、くれぐれもご自愛ください。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

(編集委員)